

初冬の
陽気

こころちよく



'95

12/1

- 佐藤政五郎氏、長谷川正氏が叙勲の榮譽に輝く
町長日誌 3
- ホークスサミット災害応援協定が締結される 4
- 「日本経済新聞座談会に岩川徹町長が出席、町の取り組みなどを語る」 5
- 戦後50年平和祈念町民のつどいから 6
- まちの話題 7
- 廃棄物処理条例の改正について③（家庭編） 8
- プライアの「たかのす見たり聞いたり」 9
- 健康広場 10
- 暮らしの情報 13
- 公民館まつりと生涯学習交流会のお知らせ 16

〔表紙のことば〕



11月は、近年になく雨の多い月でした。そんななか、たまにポカポカ陽気になると外に出て太陽をいっぱい浴びたい気分になります。児童公園では親子連れが気持ちよさそうに日なたぼっこ……。暦はもう12月、年末を迎え何かと慌ただしくなる季節となりました。

人口と世帯数 10月31日現在

住民基本台帳による

総人口	23,219人 (18人増)
男	11,157人 (11人増)
女	12,062人 (7人増)
出生	21人 転入 73人
死亡	25人 転出 51人
世帯数	7,466世帯(15世帯増)

カルチャー&スポーツ

ミニガイド

ファルコン

- 12・3(日) 第10回野呂早苗ピアノ発表会 入場/無料・自由 16:00~18:30
- 12・8(金) ボーイスカウト・日本ジャンボリー参加活動基金 18:30~21:00
チャリティーピアノコンサート 入場/大人 1,500円・小人500円
- 12・9(土) 三國作智子・武石真澄ピアノ教室発表会
入場/無料・自由 13:30~15:30
- 12・10(日) 婦人芸能祭
入場/前売600円、当日800円 9:00~16:30

「おはなしでてこいスペシャル」

と き：12月16日(土)14:00~15:00

と ころ：ファルコン会議室

ないよう：人形劇 ペープサート

ハンドベルなど



- 12・17(日) カワイ音楽教室発表会 10:00~17:00
- 12・23(土) 鷹巣混声合唱団第19回クリスマスコンサート 16:00~18:00
※詳しいことは、ファルコン (☎62-3311) まで

中央公民館

- 12・3(日) 第13回公民館まつりと生涯学習交流会(詳しくはウラ表紙に掲載)
- 12・7(木) 鷹巣町身障者協会交流会
- 12・8(金) 鷹巣町生活研究グループ交流会
- 12・16(土) 奈良康一先生教育功労受章祝賀会

スポーツ

- 12・1(金)~3(日) 全県高校新人剣道大会 鷹巣体育館
- 12・10(日) 第11回鷹巣阿仁広域圏綱引大会



「町村合併40周年記念誌」
希望者におわけします

町村合併四十周年を記念して作成された記念誌(内容：みらいたかのす展望、一〇〇人が綴るメッセージ、四十年の軌跡など)を希望者におわけします。希望する方は、役場総務課(二階)までおいでください。

なお、数に限りがありますので、お早めにごぞうじ。

町長日誌

11/1~15

1日(水) 鷹巣町地域福祉センターのデイサービス事業が開始。お年寄り方が参加する中、「横になってばかりいては外に出れなくなる。ゆっくりここに遊びに来てほしい」と声をかけ激励した。

2日(木) 鷹巣町文化祭『小、中学校の部』の開会式に出席。

2日(木) 3日(金) 東京都三鷹市で行われた『ホークスサミット首長会議並びに姉妹友好都市調印式』に出席。

7日(火) 文化祭協賛行事『芥川賞作家・高井有一氏文化講演会』の開会式に出席。

7日(火) 鷹巣町在宅保健婦・佐藤ミヤ子さんの厚生大臣表彰受賞祝賀会に出席、公衆衛生に尽力された功績をたたえ、出席された方々とともに受賞を喜び合った。

8日(水) 第3回鷹巣町老人福祉大会に出席、「われわれの先輩を大事にし、これからも安心して暮らせるよう行政努力を続けたい」とあいさつ。

9日(木) 鷹巣町生涯教育奨励員会議に出席。

10(金) 『戦後50年平和祈念町民のつどい』に出席。

11日(土) 堀内竹治さんの秋田県芸術文化協会・民俗芸能功労者表彰の受賞祝賀会に出席。

12日(日) 鷹巣町子ども会育成連絡協議会30周年記念式典に出席。

14日(火) 大館能代空港ターミナルビル(株)取締役会並びに基本計画検討委員会に出席。

15日(水) 西小学校のアルミ缶回収による『車いすをおくる集会』に出席。「今回が4回目であり皆さんの頑張りに感謝します」とお礼を述べた。

15日(水) 町道七日市松沢線の開通式に出席、テープカットをし新しい陸路の完成を喜び合った。

おめでとうございます

秋の叙勲 町から二氏が晴れの受章

このほど平成7年秋の叙勲受章者が発表され、町から二氏が受章の栄誉に輝きました。勲五等瑞宝章に警察功労の佐藤政五郎氏、同じく勲五等瑞宝章を土地改良功労として長谷川正氏が受章されましたが、それぞれの分野で永年にわたり尽力された功績を讃え、ご紹介いたします。

勲五等 瑞宝章



佐藤政五郎氏
[坊沢・80歳]

佐藤氏は、兵役後の昭和十四年秋田県巡査に採用、横手署に配属され、昭和十六年応召、昭和十八年から再び横手署に勤務。その後、湯沢署、本部防犯課、警察学校教官、土崎警部派出所長などを経て秋田署警備課長、機動隊副隊長、角館署長、湯沢署長、本部厚生課長などを歴任。在職三十二年間、常に「住民の立場で公正、中立に」を信条に住民の安全を守る警察に従事し、尽力した功績によるものです。佐藤氏は、受章の喜びを「大変名誉

なことですが、警察というところは個人のみ力だけでは何もできないところ、組織の中でたくさんの方々に恵まれ、みんなが頑張ってくれたおかげです。また、長い間、地元を離れご迷惑をかけてきました。退職後帰ってきてからも各方面の方々に温かく迎えていただき感謝しています」と謙虚に語っておられました。

勲五等 瑞宝章



長谷川 正氏
[栄・70歳]

長谷川氏は、昭和四十一年十一月に旧太田堰土地改良区の理事長に就任し、昭和四十六年三月の坊沢堰、鷹巣堰、

高野尻、摩当の五組織合併に尽力、新生「鷹巣町土地改良区」誕生後同改良区の理事長を現在まで勤める一方、北秋田土地改良協会長も通算十六年間勤めています。この間、向黒沢地区界営圃場整備事業や鷹巣三堰地区界営かんがい排水事業など、農業基盤整備と土地改良区の育成強化に尽力した功績によるものです。

長谷川氏は、受章について「土地改良は地味な仕事。このような晴れがましい栄誉を受けるとは思ってもいませんでした。土地改良事業は公共事業、申請事業であり、組合員の理解と協力がなければ成り立たないもので、組合員に感謝しています」と喜ぶとともに、「今後は国際農業をめざした大型圃場整備と町内土地改良区の合併を促進して組織強化を図りたい」と意欲的に抱負を語っておられました。

「鷹」のまちが災害時にスクラム

ホークスサミットの5市町で災害応援協定



鷹巣町など自治体名に「鷹」の字の付く全国の五市町で、ホークス（鷹）サミットを開催し交流を続けていますが、このほど、阪神大震災を教訓に、大規模な災害が発生した際、相互に応援態勢をとる「災害相互応援協定」を締結しました。今後災害発生時には、ホークスサミット共同宣言の友愛精神に基づき、被災市町の要請により、職員の派遣や物資の提供など迅速な救援活動を行い、復旧対策などを円滑に進めることにしています。

災害応援協定が締結されるまでの経緯

ホークスサミットは、自治体名に「鷹」の字の付く全国五市町で友好関係を結び、交流を深めようと鷹巣町が他の自治体に呼びかけ、平成元年にスタートしました。

構成市町は、北から北海道栖川町、山形県白鷹町、東京都三鷹市、長崎県鷹島町と当町の五市町で、第一回ホークスサミットは、平成元年に三鷹市で開催され、以後各町を一巡して開催し、行政だけではなく物産関係（生産者と消費者）や婦人、児童などの交流も盛んに行われ、民間レベルの交流へと発展してきました。

こうしたなか、平成三年九月二十八日、本県などを襲った台風十九号で、当町が甚大な被害を受けた際には、三鷹市と白鷹町からそれぞれ見舞金を受けたほか、各町から温かい激励が寄せられました。

今回の「ホークス五市町災害相互応援協定」は、今年二月十三日、三鷹市を会場に開催されたサミット・首長会議で話題になったもので、これを受け三鷹市が主体となって協定書の具体的な文案等の検討を進め、当町でも応援要請を受けた場合の庁内の活動体制（本部長、組織、応援対策会議等）や関係団体の協力体制などについて打ち合わせするなど検討を重ねてきました。

被災市町応援、復旧を円滑に遂行するために

調印式は先月二日、三鷹市に五市町の首長（一部代理）が出席して行われ、協定書

にサインし、同日より協定が施行されました。なお、協定の有効期限は三年間とし、期間満了の日の三カ月前に各市町から何ら申し出がない場合は、「二年間延長する」としています。

また、協定締結の目的は、「ホークスサミット共同宣言の友愛精神に基づき、相互に救援協力し、被災市町の応急対策と復旧対策を円滑に遂行するため」とし、第一条から第七条にわたって連絡担当部局、応援要請、応援経費の負担、応援職員の事故等に係わる災害補償等、有効期間、実施細目などで構成されています。

各自治体の人的、財政的能力に応じて支援

協定書の内容は、(一)大規模な災害が発生し、被災市町のみで十分に応急処置ができない場合、応援を求める。(二)応援要請は、車輛、器材、食糧、職員の派遣、り災住民への応急住宅の提供等とする。(三)応援の要請を受けた市町は、極力これに応じ、救援活動に努める一などとなっており、応援経費の負担については、①応援職員に要する経費―応援する市町が支弁する。②救援物資の調達、その他支援に要する経費―市町が協議して決定する一となっています。

この協定は、各自治体の人的、財政的能力などに応じて可能な限り支援していくという「紳士協定」ですが、町では町災害対策本部とも連携をとりながら十分な対応を図っていくことにしており、「鷹」のまちのスクラムがより一層強固なものとなりました。

「医療と福祉の日本型介護を考える」

～岩川町長が全国自治体の首長でただ一人出席～

21世紀に向けて最も深刻な社会問題といわれる「介護」について、国は平成九年度から新しい介護システムの導入で、医療行政の大きな政策転換を図るべく検討を進めています。しかし、運用主体となる自治体に格差があるなどの課題も多く、日本経済新聞ではこの問題を取り上げ、「国、自治体、民間はいま何をすべきか」をテーマに、座談会が開かれましたのでご紹介します。

座談会には、厚生省老人保健福祉局長の羽毛田信吾氏、東京大学教授大森彌氏、広島県御調町立みつき病院長山口昇氏、セコム取締役顧問小島正興氏の四氏と、全国の自治体の首長からただ一人岩川町長が出席し、国、自治体、民間の立場で討論が行われました。

—新介護システムの導入にあたって—

▽羽毛田局長「国は、高齢化、少子化の中で深刻化する介護の問題について、これを支援する基盤施設やサービスの量と今までのやり方や体制を見直し、システムを組み上げたいと思う。一方、利用者ニーズに合うサービスを行うには市町村の役割が重要で、広域的な観点も必要ではないかと考えている」

▽岩川町長「福祉は現場が大事。福祉資源の総合的な調整は市町



村が率先してやるべきで、福祉サービスの供給の量と質を具体的に住民に提示しながら理解を得たうえで議論に入らないといけないと思う」

▽山口院長「病院の医療を家のなかに持ちこんだり、役場の福祉と厚生を病院にもつてきたり

すること苦勞したが、今回の新介護システムも受け手サイドの視点が重要で、それを支える行政もわれわれ専門職も、住民も一緒になっていかなければならない」

—やれる市町村、やれない市町村、なにが肝要か—

▽山口院長「第一の条件は、首長の理解とやる気、第二は、保健、医療、福祉のタテ割り行政の改革、第三は、関係者が縄張り意識を捨てること」

▽大森教授「市町村は二十四時間対応にかなり不安を持っているが、この領域をちゃんとできないと、きちんとしたまちづくりができないと思う」

▽岩川町長「福祉の問題は生活そのものだから、福祉行政を施策の中心に置き、行政の真剣な姿勢が伝われば、最終的に全員がそういう方向に向かうと思う」

—期待高まる民間の役割—

▽小島氏「多くの技術やサービスを総合した医療サービス、また、質的向上を考えると、民間のサービスを保険の対象にすべき」

▽大森教授「介護の質を高めるために、市町村だけでなく民間が入ってきてほしいと思う。しかし、保険者を市町村にすると財源

にけっこう偏りが出ると思う」

▽岩川町長「徴収システムは払う側からすると、今までの保険と同じような前提を求めると思うが、今の地方自治体の状況ではかなり厳しい」

最後に羽毛田局長が「公的な介護保険の給付の範囲は非常に大事なポイントで、今後議論が必要」とむすびました。

町職員(保健婦)採用試験のご案内

- 採用人員 保健婦一名
- 受験資格
 - (一)年齢 昭和四十五年四月一日以後に生まれた方
 - (二)資格 「保健婦」資格を有している方または取得見込みの方
- 試験日 平成七年十二月十九日(火)
- 試験会場 鷹巣町役場
- 申込受付期間等
 - (一)期間 十二月一日(金)～十二月十五日(金)まで ※土、日除く
 - 午前八時三十分から午後五時十五分まで役場総務課(☎六二一一一一)に申し込みください。
- 住所資格 鷹巣町に住所を有している方を原則とし、町外在住の場合は両親等が鷹巣町に住所を有していること。また採用後町内に居住できる方。

心に刻みたい
次代に
語り継ぎたい

平和

戦後50年平和祈念町民のつどいから

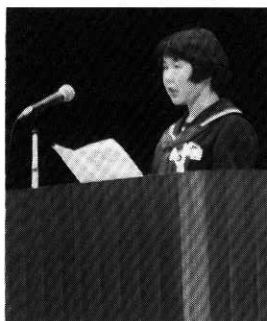


今年には戦後五十年という節目の年。今、日本に住む私たちは戦争のない平和な社会に暮らしています。平和な時代の中で戦争体験は次第に薄れつつあるかもしれませんが、戦争から得た貴重な体験はいつまでも心に刻み、次代に語り継がなくてはなりません。

世界の恒久平和を願い、町が主催して行われた「戦後五十年平和祈念町民のつどい」の様相をご紹介します。

式典は先月十日、たかのす風土館（ファルコン）で行われ、岩川徹町長をはじめ、来賓、関係団体、一般の町民など約四百人が出席しました。はじめに物故町民に対する黙祷が行われた後、岩川町長が「戦後五十年を記念して、全国各地で集会や講演が行われている。平和への願いが薄れがちになるのではないかとの懸念もあるが、こうした大会を開催していくことで平和について確認していかなくてはならない」とあいさつ。また、「平和祈念のことは」として、柳谷重治町遺族連合会長、高橋七郎軍恩連盟鷹巣支部長、三沢定幸さん・藤嶋ハルさん（平和推進団体代表）、高橋由利子さん（鷹巣中学校三年）、淡路友紀子さん（鷹巣高校二年）が戦争体験や平和への思いをそれぞれの立場で主張しました。最後に藤本久恵さん（松沢）が「平和祈念アピール」を朗読、平和の大切さを確認しました。

「永遠に平和を」 高橋由利子さん （抜粋）



戦争は「恐ろしい」という一言では片づけられないし、二度とこの惨劇を繰り返してはならないと思う。もう戦争から五十年がたち、今日日本にいるほとんどの人が戦争を体験したことがないわけだが、戦争の恐ろしさ、悲惨さなどは永遠に語り継がれていかななくてはならないと思う。また、この平和が永遠に続くように世界の一人ひとりが戦争の恐ろしさを自覚しなくてはいいと思う。

私は平和な時代に生まれたことに本当に感謝している。こんな豊かな時代に生まれてくることができなかつた人たちのためにも、私たちは「今」を生懸命生きるべきだと思う。

平和祈念アピール

先の大戦の終結から五十年という歳月が過ぎ去りました。戦禍に倒れ、あるいは戦後、遠い異郷の地に亡くなられた方々は、三百万余の多きに及びました。

亡くなられた方々に心から哀悼の意を表すとともに、戦後五十年という節目を迎え、平和への誓いを新たにいたします。

戦後我が国は、平和を祈念し、固い決意と不断の努力により、幾多の困難を乗り越え、飛躍的な発展を遂げてまいりました。この平和で豊かな今日においてこそ、その繁栄の陰には、戦争による幾多の尊い犠牲があったことを忘れることなく、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に語り継いでいかなければなりません。本日この平和祈念町民のつどいに臨み、先の大戦で得た貴重な教訓を深く心に刻み、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を確立し、国際社会と調和した我が国の真の豊かさを表現するため、全力を尽くすことをここにあらためて誓い、平和祈念アピールいたします。

平成七年十一月十日

戦後五十年平和祈念

町民のつどい

これからも「人間性豊かな子育て」を

鷹巣町子ども会 育成連絡協議会 結成三十周年記念式典

鷹巣町子ども会育成連絡協議会（九島友信会長）の結成三十周年記念式典が先月十二日、たかのす風土館で行われ来賓・関係者約百五十人が出席して三十年の節目を祝いました。

同協議会は昭和四十年に発足して以来、各地区子ども会と連携しながら各種イベントやスポーツを通じて子どもたち同士の交流の場を設けるなど、心身ともに健全な子どもの育成に尽力し、現在は七十二の各地区子ども会から組織されています。

式典は鷹巣祇園太鼓のオープニングセレモニーではじまり、長年協議会の活動に貢献してきた三十二の個人・団体に感謝状が贈呈され、これまでの労をねぎらうとともに今後のさらなる発展と飛躍を誓いました。



竜森地区へのアクセス道路に期待

―葛黒バイパス開通式―

町が建設を進めていた通称葛黒バイパスを含む町道七日市松沢線の工事がこのほど完成し、先月十五日、現地で関係者約七十人が出席して開通式が行われました。

町道七日市松沢線は七日市本郷地区内の国道一〇五号線から松沢地区内の県道桂瀬笹館線に接続する十二・二六五kmで、竜森地区の生活道路であることから町では改良工事を進めていたものです。また、この工事が完成したことで、竜ヶ森キャンプ場などのいこいの場へのアクセス道路ともなります。

開通式は葛黒バイパスの元渡橋（延長五十二m）付近で行われ、神事、テープカットの後、車両パレードで渡り初めをして開通を祝いました。

受賞おめでとう

鷹巣町芸術文化奨励賞 農産物・生活工夫展 受賞者紹介

先月開催された第二十七回鷹巣町文化祭と第十二次鷹巣町産業祭で、鷹巣町芸術文化奨励賞と農作物・生活工夫展の受賞者が発表されました。

鷹巣町芸術文化奨励賞は県レベル以上の大会、展覧会などで優秀な成績を残した方々に贈っているもので、今年は七部門で十二人が受賞。十一月三日にたかのす風土館で受賞式が行われました。

また、鷹巣町産業祭で開催された農作物・生活工夫展では今年雨による日照不足にもかかわらず、丹精こめて育てられた作品が多数展示され、九人が金賞を受賞しました。

各賞の受賞者は次の方々です（敬称略）

〔鷹巣町芸術文化奨励賞〕

- ▽大衆芸能Ⅱ成田久美子（七日市本郷）
- ▽書道Ⅱ和田アヤ子（花園町）
- ▽工芸Ⅱ中嶋秀尚（住吉町）、村井恵美子（伊勢町）、高橋美津男（あけほの町）、吉田充美（米代町）、渡辺龍子（材木町）
- ▽日本画Ⅱ相馬源一郎（幸町）
- ▽洋画Ⅱ高田政男（あけほの町）、伊藤テツ（田中）
- ▽水墨画Ⅱ宮野雄治（松葉町）
- ▽民謡Ⅱ明石昭一郎（前野）

〔農作物の部〕

- ▽金賞Ⅱ小松スエ（水稲）、河田ミエ（畑作物・ばれいしよ）、佐藤純一（果樹）、高橋セツ子（花き）、斎藤彦次郎（キャベツ）、戸嶋キクエ（ネギ）、斎藤キワ（セリ）、藤島健一（山イモ）

〔生活工夫の部〕

- ▽金賞Ⅱ津谷ヒサ（タペストリー）



鷹巣町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

が改正されました ③ ～家庭編～

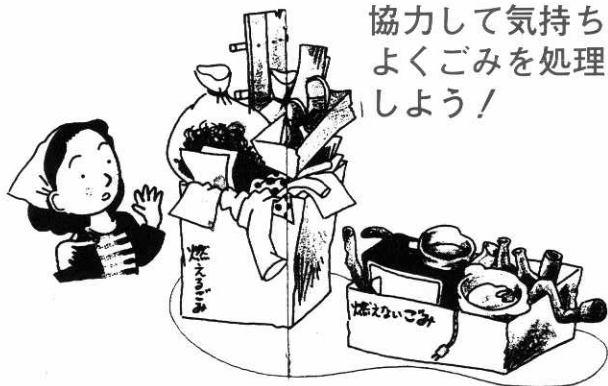
平成7年9月議会で「鷹巣町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」（昭和47年公布）が全部改正になりました。

この条例が改正されたことで、町、事業者、住民それぞれに責任や義務が課せられたり、規制の強化、協力体制の強化が定められました。

今回は主に一般家庭で守らなければならないことについてご紹介します。

分別収集にご協力 お願いします

ごみを出す人、
集める人、みんな
協力して気持ち
よくごみを処理
しよう！



住民の皆さんが守らなければならぬことなど

- ①ごみの排出を抑制し、再生品を使用することや不用品の活用等で再利用を図り、日常生活で発生するごみをなるべく自分で処分するなどしてごみの減量に努めること。
- ②町の施策による再利用可能な物の分別をすることにも集団回収などの再利用を促進するための自主的な活動に参加・協力することなどでごみの減量と資源の有効利用に努めること。
- ③商品の購入にあたっては、その商品の内容や包装、容器等がごみとなることを考えて、環境保全及びごみの減量を配慮した選択・購入をするよう努めること。
- ④土地、建物の所有・管理者は、その土地や建物とそれらの周囲の清潔を保ち、互いに協力して地域の環境保全に努めること。
- ⑤何人も、公園、広場、道路、河川その他の公共の場所を汚さないこと。

収集するときに注意しなければならぬことなど

- ①町の処理計画に基づき、所定の適正な分別がなされていること。
- ②各集積所においてその利用区域（世帯）を明確にし、収集日以外のごみ出し防止などの管理がきちんとされていること（収集停止や集積所の撤去をすることもあります）
- ③店舗兼住宅の小売店、商店などは、事業活動によって生じたごみを集積所に出すことはできません。事業分のごみと生活ごみをきちんと分け、事業分のごみは埋立地へ運搬するか、廃棄物処理許可業者に委託しなければなりません。
- ④これから冬季の収集業務は降雪のため困難になってきますので、円滑に収集できるよう集積所の除・排雪を確実に行的、集積所スペースの確保をお願いします。

家庭ごみを出すときの注意10ヶ条

- ①生ごみはしっかりと水切りすること。
- ②スプレー缶ものはきちんと使い切り、必ず穴を開けてから出すこと。
- ③弁当やジュース等の残りはきちんと処理してから袋に入れること。
- ④紙おむつ、ペット用トイレ砂等は、汚物を取り除いてから包んで袋に入れること。
- ⑤燃やせないごみについては、現状でリサイクルできる缶物とそれ以外のものに、ふだんから分別しておいて出すこと。
- ⑥ガラス、蛍光灯、トタンの切れ端など収集業務に際し危険性があるものは、段ボール等に入れてマジックなどで明記してから出すこと。
- ⑦袋に入れることができないものについては、きちんと束ねたりごみであることを明確にすること。（剪定枝、雑誌

ブライアン「たかのす見たり聞いたり」VOL.1



今号から町の国際交流員であるブライアン・リーコックさんのコーナーがスタートします。

ブライアンさんに聞いてみたいこと、教えてもらいたいことなどありましたら、どしどしリクエストしてください。お待ちしております。

今回のテーマ

「鷹巣町の印象」

みなさん、こんにちは。国際交流員のブライアン・リーコックです。今年の八月に矢島町から鷹巣町へ来て、現在は鷹巣町教育委員会に勤めています。私はついこの間、二十六歳になりました。今回は私の今までの経歴と秋田の印象について少し話そうと思っています。

私はカナダのヴィクトリア大学で東洋学を専攻していました。そのため、五年前に長崎県の諫早市に来て一年半留学したことがあります。ですから、長崎のことは少し詳しいです。

今から一年半前、私は秋田県の矢島町にALIT（外国語指導助手）として勤務することになりました。その時、私は秋田について何も知らなかったのですが、以前ホームステイをさせてもらっていた熊本のホストファミリーに相談しました。そこで、私は四つの事を教えてもらいました。

一つ目は、「ズーゾー弁」です。秋田は雪が降って寒い所なので話をする時にも口をあまり開かないため、秋田の人の方言はとても分かりにくいということです。

二つ目は、「秋田美人」といって、

きれいな女の人が多いということです。

三つ目は、お酒とお米です。秋田の気候・風土により、とても美味しいお酒とお米があるということです。

四つ目は、大変緑が多く自然が豊かだということでした。

そして、実際に秋田に来ての正直な感想はやはり方言には苦労しています（今は少し慣れてきました。が……）

秋田美人については……。

また、お酒やお米はとても美味しくいただいております。秋田の自然は時々、私の国カナダを思い出させるくらいきれいで、大好きです。鷹巣町に来て四ヶ月経ちましたが、この町が本当に好きになりました。

英語劇

見に来ませんか

12月9日（土）、中央公民館ホールにて、ブライアンさんが英会話講座のメンバーと英語劇「オズのまほうつかい」に挑戦します。

手づくりの衣装とやさしい英語で大人から子どもまでみんなで楽しめる劇です。歌やクイズも交えて、オズの国まで一緒に冒険してみませんか。

劇のあとには、ブライアンさんのおきのお楽しみもあります。

ご家族おそろいでおこしください。

○にちじ

12月9日（土）

カブスカウト集会終了後

（終了予定は2時）

○ばしょ

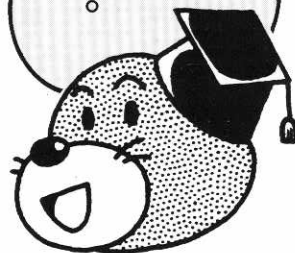
中央公民館ホール

○ないよう

1. 人形劇（こやぎの会） [30分]
2. たのしい英会話 [30分]
「オズのまほうつかい」
3. ゲーム・クイズ

ご不明な点や詳細についてのお問い合わせは
役場住民生活課環境生活係（☎六二一―一―）へ

平成八年一月より町営
ごみ埋立地の閉鎖日が
毎週金曜日になります。



ふとん、ストープ、テレビなど縦・横・高さが1m以内の物）

⑧ できるだけごみになる物の購入を避け、自家処理できるごみは安易に収集に出さない。

⑨ 清掃事故を防ぐためにも、串物や割りばしを出すときには二つか三つ折りにしてできるだけ小さくして、袋を突き破ることのないようにすること。

⑩ 自分の排出するごみに責任を持ち、不法投棄防止、集積地区外排出など、モラル高揚のためにも、袋に必ず世帯主名を書いて出すこと。



シクラメン

健康広場



福祉保健課からのお知らせ

平成8年度
保育園・町立幼稚園
入園希望者募集

申込受付期間は12月1日～12月22日まで

■募集人員

鷹巣保育園	90人(36人)
南鷹巣保育園	120人(40人)
七日市保育園	60人(12人)
綴子保育園	60人(12人)
中央保育園	90人(30人)
東保育園	60人(11人)
竜森保育園	30人(3歳児以上に限る)
北幼稚園	どちらも40人 (平成3年4月 2日から平成 4年4月1日 生まれのお 子さん)
西幼稚園	

※()内は3歳未満児

〔保育園〕

■申込先

福祉保健課福祉係または各保育園

※申請書はどちらにもありますので、必要な書類を添えて提出してください。

■入園通知

一月下旬に面接を行い、二月下旬までに入園決定を保護者の方に通知します。

■お問い合わせ先

福祉保健課福祉係 (☎六六一一一一 内線一三六・一三七)

〔町立幼稚園〕

■募集地域

○北幼稚園Ⅱ綴子地区一円 ○西幼稚園Ⅱ坊沢・七座地区一円

福祉メモ

28

「もろびこども園」について

きょうも「もろびこども園」から子どもたちの元気な歓声が聞こえてきます。

「もろびこども園」は昭和五十八年に元町の労働会館で

始まった親の会の訓練会の歩みが、一昨年厚生省からの認

可を受け、鷹巣町が設置主体となり通園事業を開始したも

のです。発達に何らかのつま

ずきをもつ〇〇六歳までの子

どもたちに療育を行い発達を

促進し、つまずきの軽減を図

ることを目的としています。

定員は二十名ですが現在は二十四名の子どもたちが北秋田

郡内六町より母子で通園しています。職員は園長(福祉保健課長)、指導員一名、保母二名、非常勤保母一名、嘱託医一名です。

もろびこども園では、(一)育

つみちすじは同じです(二)生育

歴から学びます(三)体づくりを大切にします(四)一日の生活リズムをつくり(五)個人と集団を大切に育てます(六)母子の関わりを大切にします(七)子ど

も集団や、医療、福祉、教育関係との関わりを大切にします。すーを目標に、療育活動と家族への援助を行っています。

「療育」とは、注意深く設定された子育てといえ、改善化・統合化・地域化がその根

底にあります。「療」には専門的な関わりが主体となりま

すが、地域の子の一人として

はぐくむ「育」も大切なこと

なのです。十六名の児童がそれぞれの地域の保育園・幼稚園に通園しています。統合化

地域化の現れだといえます。

このようにもろびこども園

では、地域の社会資源を活用

し地域の中で子育てしていく

「地域療育」を皆さんと一緒に考えていきたいと思ってい

ますので、よろしく願います。なお、子育てや療育に関する相談も行っていますので、お気軽にご相談ください。

鷹巣町福祉のまちづくり
ワーキンググループ
(福祉行政サービス)

12月9日は「障害者の日」
12月3～9日は「障害者週間」

— 障害者の完全参加と
平等を目指して —



鷹巣町町村合併40周年 記念品贈呈のお知らせ

町では町村合併40周年記念品として、各世帯に秋田杉の「写真たて」をお配りしております。記念の品として大事にお使いいただければ幸いです。
— 鷹巣町 —

■ 申込先
各幼稚園

※ 入園願書は教育委員会及び各幼稚園にあります。

■ 入園通知

二月下旬までに入園決定を保護者に通知します。

■ お問い合わせ先

教育委員会学校教育課 (☎六二一〇八七八)

北幼稚園 (☎六三〇〇八七八)

西幼稚園 (☎六二二二六二二)

秋田県心身障害者総合福祉展

が開催されます

障害者が自ら製作した各種の作品を展示し、障害者に対する正しい認識を深めてもらうことと、障害者の社会活動への積極的な参加と自立意識を高めることを目的に「秋田県心身障害者総合福祉展」が開催されます。

どうぞお気軽においでください。

■ テーマ

「自立の道に自信と誇りを」

■ 主催

秋田県、社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会、社団法人秋田県手をつなぐ育成会

■ 開催日時

十二月九日(土)～十一日(月)・午前九時～午後四時三十分

■ 会場

秋田県社会福祉会館(秋田市旭北栄町一番五号)

■ 展示内容

○ 身体障害者(在宅及び施設入所者)の作品 ○ 知的障害

児者(在宅及び施設入所者)の作品 ○ 障害者施設での作

業訓練、授産事業等による製作(生産)物

※ お問い合わせは、社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協

会(☎〇一八八一六四二七八〇)へ。

12月1日は「世界エイズデー」

個別相談・検査が
県内各保健所で行われます

～お気軽にご相談ください～

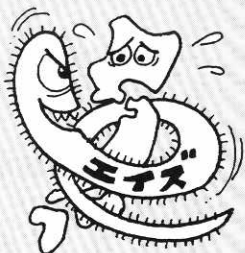
○ 鷹巣保健所の実施日時

12月1日(金)

10:00～12:00 / 13:00～14:00

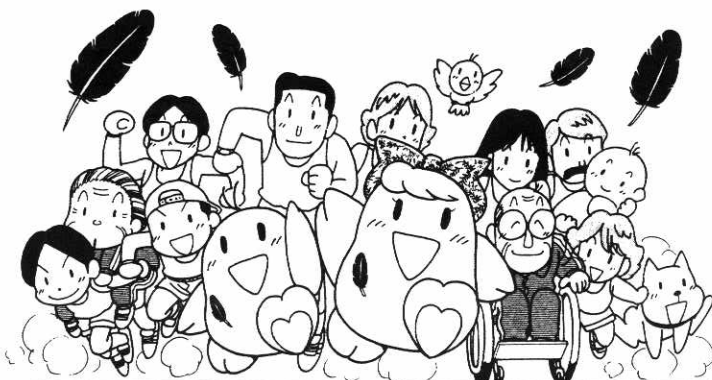
○ 電話番号

☎ 62-1165



歳末たすけあい運動

12月1日～12月31日



『地域でささえあう あったかいお正月』

● 歳末たすけあい募金にご協力をお願いします。

12月の健康ごよみ

■ 4日(月)・18日(月)

○母子健康手帳交付と第1回母親学級

場所-中央公民館保健相談室

受付時間-午後1時~1時10分(終了は3時)

内容-母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導
母乳栄養について/その他

持参-印鑑

■12日(火)

○1歳6カ月児健康診査

対象-平成6年4月~5月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

受付時間-午後1時~1時15分

持参-母子健康手帳、問診票、バスタオル

○フッ素イオン導入

対象-3歳児以上

場所-中央公民館保健相談室

時間-午前1時30分~午後3時

持参-母子健康手帳、タオル

■13日(水)・27日(水)

○健康相談と健康教育

場所-中央公民館保健相談室

時間-午前10時~12時/午後1時~3時

内容-健康相談、血圧測定、ビデオ上映「お酒と肝臓」

■26日(火)

○4カ月児健康診査

対象-平成7年8月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

受付時間-午後1時~1時15分

持参-母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象-平成7年5月生まれのお子さん

場所-中央公民館ホール

時間-午前9時30分~9時45分

持参-母子健康手帳、バスタオル

〈予防接種のお知らせ〉

■13日(水)・14日(木)・15日(金)

○はしか

対象-接種券の交付を受けた方

接種日程-(13日)藤原医院・津谷医院

(14日)奈良医院・北秋中央病院

(15日)としま医院

持参-母子健康手帳、接種券

健康広場



9月6日に行われた3歳児健診で、虫歯のなかったお子さんを紹介します。



舟見町

たけうち まりこちゃん



内幸町

やまもと ゆうすけちゃん



藤株

きむら こうたちゃん



相善

さとう たかゆきちゃん

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分~9時)

12月曜日	医療機関名	電話番号
1日 金	たむら内科クリニック	63-2700
2日 土	奈良医院	62-1146
3日 日	佐藤外科消化器科医院	62-1420
4日 月	鷹巣病院	62-0210
5日 火	藤原医院	62-2882
6日 水	佐々木産婦人科医院	63-0105
7日 木	盛岡外科医院	62-1101
8日 金	北秋中央病院	62-1455
9日 土	としま医院	62-1267
10日 日	戸嶋産婦人科医院	62-1123
11日 月	近藤医院	62-1155
12日 火	津谷内科	62-2261
13日 水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
14日 木	遠藤クリニック	62-0515
15日 金	北秋中央病院	62-1455

○応急の診療を要する患者。
○往診はしておりません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

暮らしの情報

INFORMATION

悪質商法 ②

あなたは知っていますか?

◆アポイント商法

「100人の中から選ばれましたので記念品をさしあげます」と電話やハガキで呼びだされ、喫茶店や営業所に行ってみると結局、高額な物を買わされることになります。
(語学教材・海外旅行など)



電話やハガキの呼び出しは用件をしっかりと確かめよう。
容易な気持ちででかけるのはやめよう。

◆クーリング・オフは必ず書面で

(ハガキ(簡易書留)での通知例)
申込日 平成 年 月 日
・ 販売店名
・ 販売店住所
・ 商品名
・ 商品代金
右記の申し込みは撤回します。
(または契約を解除します)
平成 年 月 日

※確実に出したという証拠を残すため、コピーをとって保管します。

行政相談 今月は7日

行政についての不満や要望がありましたら、どんな些細なことでも遠慮なく申し出てください。

▽日時

十二月七日(木)・午前十時
午後三時

▽場所

中央公民館三階中教室

▽行政相談委員

近藤栄一(☎六二一〇二二一〇)

※相談は無料で、秘密は固く守られます。

人権・困りごと相談 所が開設されます

十二月四日から十日までは「第四十七回人権週間」で、人権・困りごと相談所が開設されます。

困りごとや心配ごとがありましたら、お気軽においでください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

▽日時

十二月七日(木) 午前十時三十分～午後三時

▽場所

中央公民館三階和室

ハローワーク求人情報

問い合わせは
ハローワーク たかのす
(大館公共職業安定所鷹巣出張所)
TEL 0186-62-1240

【男子】

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
商品管理 販売担当	18歳～ 30歳	11.4～ 13.8	普通免許 交替制:有	対面販売及び 値付・陳列の作業	鷹巣町
ガソリン スタンドマン	18歳～ 30歳	13.3～ 20.2	不問	給油業務外 一連の作業	鷹巣町
セールス ドライバー	18歳～ 30歳	11.25～ 13.75	普通免許	固定荷主を中心 とした集配業務	鷹巣町
ダンプ 運転手	21歳～ 55歳	18～ 20	大型免許	10tダンプのオペ レーター他土木作業	鷹巣町
自動車 整備士	20歳～ 25歳	12.9～ 13.7	普通免許 3級整備士	新車、中古車点検、 一般修理、納車等	鷹巣町
組立・配線	18歳～ 30歳	18.8～ 20.8	普通免許 電気工事士 あれば尚可	部品取付、配線	鷹巣町
機械工 運転員	18歳～ 50歳	15.95～ 20.55	免許所有者優遇 交替制:有	工場内設備機器の 運転、監視業務等	鷹巣町
重機オペ レーター	50歳 以下	17.68～ 21.58	車両系免許	工事現場内の重機 のオペレーター等	鷹巣町
配送員	18歳～ 35歳	15	普通免許	建設、土木資材リ ース用品の配送	鷹巣町
営業	不問	10.82～ 15	普通免許	印刷物、広告受注	鷹巣町

【女子】

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
販売	18歳～ 35歳	13.5～ 15	普通免許	菓子製造、 包装、販売等	鷹巣町
パチンコ カウンター係	18歳～ 50歳	14.8	不問	カウンター内にお いての景品取替	森吉町
生産オペ レーター	18歳～ 45歳	10.8	不問	小型トランス、ス イッチングの生産	阿仁町
縫製・アイ ロン	18歳～ 50歳	10.65～ 15	経験者優遇	高級婦人スーツ、 ワンピースの縫製等	鷹巣町
縫製工	18歳～ 53歳	10.68～ 15	経験者優遇	ミシン掛け、中 間アイロン(パート可)	鷹巣町
仕分・結 束工	18歳～ 40歳	12～ 13.7	不問	全自動結束機に よる仕分、結束	鷹巣町
一般土木 工	50歳 以下	13.78～ 14.3	不問	一般建設作業	鷹巣町
点滴セット 用品組立 キパート	18歳～ 40歳	時給 600円	普通免許	部品組立	鷹巣町
シタケ製 造業キ パート	18歳～ 45歳	時給 600円	不問	シタケの収穫及び バック詰め出荷作業	鷹巣町
室内清掃 車両清掃	50歳～ 60歳	時給 560～580円	不問	鉄道の車両清掃	阿仁町

秋田県の最低賃金が 変わりました

(日額)4,430円 (時間額)554円

秋田労働基準局・労働基準監督署

▽担当者
人権擁護委員、秋田地方方法務局大館支局職員

郵便局からのお願い

次のことにつきましてご理解とご協力をお願いいたします。

- 一、郵便物の受取人、差出人の住所、氏名は正確にお書きください(番地・アパートの棟・部屋番号)
- 二、住所には、通称、俗称、旧町名の使用はおやめください(「住民票」記載の住所を)

新用途地域は十二月一日から 施行されます

鷹巣町告示第六十二号

都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第十九条第一項の規定により都市計画を決定したので、同法第二十条第一項の規定により、次のとおり告示し、同条第二項の規定により当該都市計画の図書を公衆の縦覧に供する。

平成七年十二月一日

鷹巣町長 岩川 徹

記

- 一、都市計画の種類 鷹巣都市計画用途地域
- 二、都市計画に係る土地の区域 鷹巣町の一部
- 三、都市計画の縦覧場所 鷹巣町花園町十九番一号 鷹巣町役場建設課

正確にお書き願います)

※住所の一部、番地を省略な
どされますと一通の手紙を配
達するのに相当の時間を要し、
正確な配達が困難になること
がありますので、なにとぞよ
ろしくお願いいたします。

善 意

- ▽静岡市 伊藤 正彌さんから一般寄付として百二十四万二千九円

香 典 返 し

- ▽吉ヶ沢 佐藤俊夫さんから亡長男尚さんの香典返し
- ▽舟見町 成田稔さんから亡母ハルさんの香典返し
- ▽舟場 中嶋英昭さんから亡母キエさんの香典返し
- ▽花園町 亀山昭夫さんから亡父米蔵さんの香典返し
- ▽松原 堀内信夫さんから亡母ミツさんの香典返し
- ▽糠沢 山内久さんから亡母サツさんの香典返し
- ▽伊勢町 栗生澤節さんから亡父實さんの香典返し
- ▽綴子大畑 山利男さんから亡母ナヨさんの香典返し
- ▽松葉町 米澤文雄さんから亡妻房江さんの香典返し

年 金 だ よ り

19

忘れていませんか国民年金の保険料

国民年金の保険料は、市町村が発行する納付書を使って毎月納付することになっています。

農業や自営業、学生などの国民年金の第一号被保険者の皆さん、きちんと保険料を納めましたか。

忙しくてつい納め忘れてしまう方もいると思います。が、もし納めないままですと、「満額の年金がもらえない」ばかりか「年金がもらえなくなる」など、将来、大変なことにもなりかねません。

今一度、お手元の領収書を確認してみてください。

なお、保険料は、納付書で納めるほかに、口座振替で納める方法もあります。便利な口座振替を利用すると、皆さんの指定の口座から毎月自動的に引き落とされ、納付のために毎回、金

融機関まで出向かなくて済みますので、納め忘れがありません。

また、病気や失業、あるいは学生の親元世帯など、保険料を納めるのが困難な人は、申請して承認されると、保険料が免除される制度もあります。この免除された保険料は十年以内であれば、さかのぼって納めることもできます。

保険料の納付や口座振替、保険料免除などのお問い合わせは、役場年金係(☎六二一―一―一・内線二二六―二七)へ。



慶弔だより

11月1日～15日・敬称略



誕生おめでとう

ございます

鈴木莉菜子(匡静)二女 大町

工藤優奈(淳子)長女 小田

野呂俊樹(正久)長男 前山



二人の前途を

祝福します

(成田 薫 宮前町
津谷 礼子 相善
松岡 憲仁 今泉
三浦 志織 合川町
九島 修 中岱
柴田 正美 大館市
齊藤 亨 松葉町
原島 真紀 綴子下町
鈴木 哲彦 あけぼの町
三澤 優子 摩当
大森 達也 東京都東村山市
長崎 洋子 緑ヶ丘

おくやみ申し上げます

宮口重太郎 (83歳) 舟場
畠山 ナヨ (85歳) 綴子大畑
太田兵次郎 (78歳) 糠沢
堀内 ミチ (85歳) 松原
高橋 俊市 (74歳) 綴子上町
成田 ハナ (82歳) 東横町
佐藤喜美治 (86歳) 糠沢
成田佐一郎 (78歳) 四渡
村上 留藏 (72歳) 太田
澤田 茂男 (44歳) 前山
寺澤 京子 (47歳) 田子ヶ沢
吉田 隆一 (94歳) 松葉町

12月は

固定資産税 4期

の納期です

～納期内に忘れずに納めましょう～

来年1月1日から戸籍手数料が変わります

来年1月1日から全国一斉に戸籍手数料が次のように改正されます。

- ◆戸籍謄本・抄本の交付 [1通につき] 400円 → 450円に
- ◆除籍謄本・抄本の交付 [1通につき] 700円 → 750円に
- ◆戸籍に記載されている事項の証明 [1件につき] 300円 → 350円に
- ◆除籍に記載されている事項の証明 [1件につき] 400円 → 450円に
- ◆届出・申請の受理の証明書 [1通につき] 300円 → 350円に
- ◆婚姻・離婚・養子離縁または認知の届出の受理証明で上質紙を用いる場合は一通につき 1,300円 → 1,400円に
- ◆届出・申請の不受理証明書 [1通につき] 無料 → 無料
- ◆届書その他市町村が受理した書類の閲覧及び証明書の請求 [書類1件につき] 300円 → 350円に

東日本旅客鉄道株式会社から

●お座敷列車で行く松島忘年の旅 民謡団同行

出発日 12月9日(土)～10日(日)

募集人員 110名様(最少催行人員80名様)

旅行代金 40,000円(鷹ノ巣駅から)

※お申し込み、お問い合わせは、JR鷹ノ巣駅(☎62-1158)へ。

●12月1日より、列車のダイヤが改正となります。

鷹ノ巣駅の時刻表は次のとおりです。

(奥羽本線 upper)

(奥羽本線 lower)

列車名	鷹ノ巣発	列車名	鷹ノ巣発
快速 しらかみ2号	6:51	寝台特急 日本海1号	6:51
普通電車	7:07	普通電車	7:23
特急 白鳥	7:28	寝台特急 鳥海	7:41
※たざわ8号は廃止		普通電車	8:06
普通列車	鷹ノ巣止まり	寝台特急 あけぼの	8:53
急行 よねしろ	8:35	普通列車	9:05
普通電車	9:34	普通電車	9:28
快速 しらかみ4号	10:41	寝台特急 日本海3号	10:07
L特急 いなほ12号	11:52	快速 しらかみ1号	10:40
普通電車	13:04	L特急 たざわ1号	11:28
L特急 たざわ20号	13:18	快速 しらかみ3号	13:28
普通電車	15:18	L特急 いなほ1号	14:16
L特急 たざわ24号	15:47	普通電車	15:01
快速 しらかみ6号	16:27	L特急 たざわ11号	16:52
普通電車	17:16	普通電車	16:56
寝台特急 日本海2号	18:16	普通電車	18:14
普通電車	18:20	急行 よねしろ	19:07
寝台特急 鳥海	19:09	快速 しらかみ5号	20:01
寝台特急 あけぼの	19:35	普通電車	21:02
普通電車	20:01	特急 白鳥	21:25
寝台特急 日本海4号	21:13	※たざわ23号は廃止	

第 13 回 鷹 巢 町



公民館まつりと生涯学習交流会



12/3(日) 9:30~17:00
会場:中央公民館

生涯学習時代といわれる中で、自らの生きがいを求め、郷土を愛する心を育みながら、お互いに実践の発表と情報交換を行い楽しく交流してみませんか。

—豊かな人づくり 生き生きとした
まちづくりは 生涯学習から—

**どなたでも、お気軽に
ご参加ください!**

■主催/鷹巣町生涯学習推進本部、鷹巣町教育委員会
鷹巣町中央公民館・各地区公民館

■参加対象/講座受講者をはじめ、どなたでもお気軽にご参加ください

■テーマ/「地域づくりと生涯学習を考える」

■内容

◇パネルディスカッション

《学びあい 育てよう 人と地域を》

- ・提言者▷加賀谷テル子 (鷹巣町介護者の会)
- ▷佐藤一美 (鷹巣ばやし普及会代表) ▷長岐薫 (ヤングアフターファイブワーク委員会委員長) ▷三沢由美子 (三沢音楽教室主宰)
- ・司会小坂和子 (たかのす劇団)

◇記念講演

- ・演題/「ヨーロッパの旅と市民生活」
- ・講師/洋画家 野呂正男氏

◇わたしの生涯学習

- ・発表/河田ますみ (さぶる学級)
プライアン・リーコック (国際交流員)
- ・展示/デッサン・パッチワーク・陶芸・ちぎり絵・七宝焼・盆栽・各学級作品・ふるさとの歴史民具展・各講座記録写真

◇交流会 手づくり屋台・バンド演奏・舞踊など

◇参加費等

希望者は申込書により申し込みのうえ昼食/500円、交流会/1,000円を、当日受付へ納付ください

■参加申し込み

12月2日(土)まで、中央公民館 (☎62-1130) へお申し込みください



▲昨年の公民館まつりから